

人権教育だより

京丹後市立大宮中学校

令和元年6月19日

～自分も仲間も大切にできる思いやりの心を育てよう！～

No.3



1年生

人権学習を通して 考えたこと



大宮中学校では、1学期はいじめやSNSの問題などの身近なテーマについて、各学年で話し合いを通して学習しています。各学年の学びを紹介します。

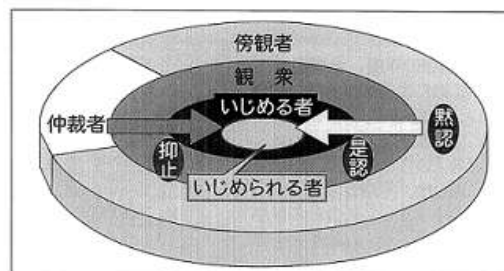
まず、1年生は資料を使って「いじめって何？」ということからスタートに学習を進めました。

いじめとは・・・

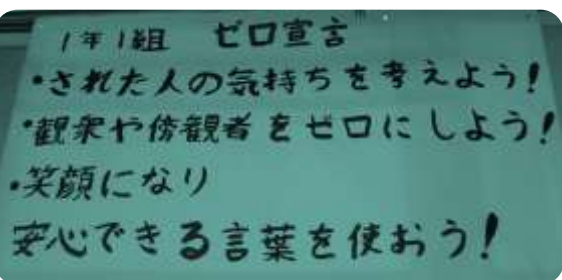
同じ学校・学級や塾、スポーツクラブ等の仲間や集団から、学校の内外に関係なく、「悪口を言われる」「無視される」「仲間はずれにされる」「使い走りをさせられる」「叩かれたり蹴られたりする」「無理やり何かをさせられる」など（インターネットを通じて行われるものを含みます。）により、その人がいやな思いをしたらそれはいじめです。（「いじめ防止リーフレット」京都府教育委員会より）

そして、いじめは“いじめる人”と“いじめられる人”だけの問題ではなく、はやしたてたりおもしろがったりする“観衆”や見て見ぬふりをしたり脅えたりしている“傍観者”という集団の存在が問題であるという「いじめの構造」を学習しました。

そこから、身近な「遊び」や「ふざけ」の中に、いじめの芽がないかを考え、話し合い、学級として『いじめゼロ宣言』を策定しました。各学級の宣言と学習のまとめの文章を紹介します。



1年1組



○小学校のときから、ずっといじめについて考え、絶対にやっちはいけないことだと勉強してきました。でも、実際にあったら自分は注意できるかを考えてみると、できなくて傍観者の立場になってしまうかもしれないと思いました。

今日の人権学習で、見ている方も加害者になるということや「いじめの定義」を学んで、やっぱりいじめをされていたら、しっかり注意しようと心に刻むことができました。

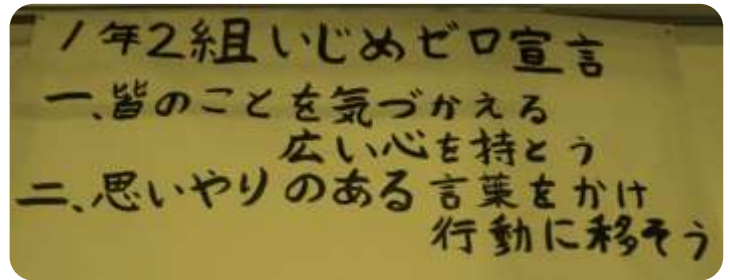
○いじめは小さなきっかけから始まって、だんだんエスカレートしていき、テレビでは自殺をしてしまう人もいると報道されていて、本当にこわいなと思いました。もし、いじめがあったら、そのいじめをなくすために努力していきます。どんなことがあってもいじめはだめだと思います。いじめのこわさについて分かったし、どうしたらいじめがなくなるのかも考えられました。



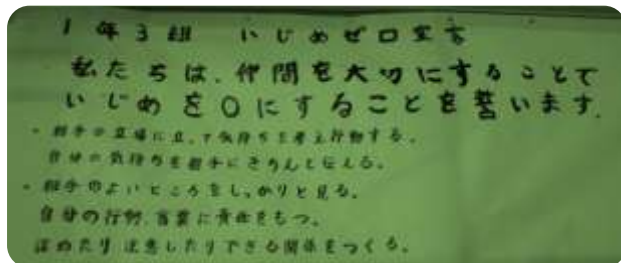
1年2組

〇いじめは何かあっても絶対にダメだと思いました。いじめられている人の心の傷は無限に深くなって、一度傷ついた心はもう直らないから、いじめは絶対になくしたいです。いじめが始まってから注意するのはおそいと思ったから、いじめがおこる前にできることを考えて、行動に移していければいいなと思いました。

自分が大切だと思ったのは、「相手がやられてどう思うかを考える」ことと、「集団でボスの存在を決めない」ことと、「広い心を持つ」ことが大切だと思いました。相手の気持ちを考えて行動すればいじめはなくなるし、広い心を持つのは、優しい心を持つことです。いじめは集団で行われるから、ボスの言うことを、周りがその通りにしてやることが多いから、ボスの存在を決めないことが大切だと思いました。いじめを少しでもなくせるように努力したいです。



1年3組



〇私は今日の学習と道德の「ヨシト」の学習で、いじめについてよく考えることができました。まず、いじめの学習で共通しているのは、みんなその人の外見だけで判断しているということです。「外見が〇〇だから、あいつはキライ」とか「あいつは〇〇だから無視しよう」など、人の見た目だけで判断することが、いじめ

につながっていました。もしかしたら、自分もそんなことをしていたんじゃないかなと思いました。でも、それはその人にとって一番悲しくて許されないことです。そんなことをしていたかもしれない自分は、とても情けないし、最悪だなと感じました。これからは、そんなことは絶対しません。

もう一つの共通点は、いじている人の心のどこかには、いじめてはいけないと迷って自分が分からなくなっていることです。でも、どこかでまちがってしまって、いじめがあることが分かりました。

〇今までいじめはダメだといわれてきたから、いじめをなくさなければならないとは思っていました。でも、実際いじめの現場にいた時や見た時に、ただただ見るだけや人に合わせていたのが自分でした。いじめを見てダメだと分かっているけど、勇気を出せずに何も言えませんでした。いじめられる側も、いじめを見る側もどちらも苦しいし、くやしいです。この3時間の学習で、いじめに対して、もっとちゃんと考えて、自分のことのように思わなければいけないと思いました。苦しい思いをしている人を見て見ぬふりをして見捨てることは、きっと自分にも相手にも、悪いことではないかと思えます。

今日の「どうして？」でもあったように、逆らうとどうなるかと自分のことを考えていたけれど、きっと相手の気持ちに少しでも気持ちを傾けたら、勇気は出たのではないかと思います。自分に厳しく、いじめを見て見ぬふりをしない。ちゃんと自分の責任として考えようと思います。

1年生

「がんばりの木」

決意がいっぱい！



「いじめは人として絶対に許されない行為です！」